



渋谷区議会議員

山柳まさや

渋谷通信

発行所 無所属クラブ

〒150-0011 東京都渋谷区東 4-9-13 アバンダント 2F TEL/FAX 03 (6318) 6125

E-mail mail@koyanagimasaya.com URL http://koyanagimasaya.com/

新年明けましておめでとうございます。

渋谷区議会議員の小柳まさやです。

2015 年が始まりました。今年も区民の声を行政に届け、少しでも生活しやすいように全力で活動していきたいと思えます。

これからは『皆様と渋谷区のくらしのホットライン』となるよう、渋谷区のために働いてまいります。ぜひ、ご一読ください。

1.『客引き行為等防止条例』が施行

私たち無所属クラブが行政と警察に働きかけた「客引き行為等防止条例」が施行されました！

2014 年 10 月に渋谷区議会で可決成立した「渋谷区公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例(以下、客引き行為等防止条例)」が 12 月 1 日に施行され、当日は渋谷駅前ハチ公広場にて制定式典が行われました。式典終了後には、警察、渋谷区、商店会など関係する皆さんと渋谷区立神南小学校の鼓笛隊とで条例施行PRパレードが行われました。私、小柳まさやと無所属クラブのメンバーも参加し、ハチ公前広場からスクランブル交差点を渡り、渋谷センター街を行進し、渋谷区全域で客引き行為等が禁止されたことをアピールしました。対象となる業務は「居酒屋」「カラオケボックス」「美容・エステ」「児童への物販」など、渋谷の街ならではの客引き、客待ち業種が指定され、渋谷駅周辺、恵比寿駅周辺、原宿・表参道周辺が重点啓発地域に定められました。施行当日の恵比寿の街も恒例の客引きの様子はみられず、ひっそりしていました。今後も街の変化を注意して見守っていききたいと思います。

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界中から観光客がやってきます。みんなが安全・安心して暮らせる街づくりに小柳まさやと無所属クラブはこれからも努力してまいります。



プロフィール

東京都台東区生まれの 48 歳 東海大学高輪台高校卒 東海大学 政治経済学部卒

1989 年 山一証券入社

金融機関勤務 20 数年間の中、マーケットを通じて日本の政治と経済の没落ぶりを見て一念発起

2011 年 渋谷区議会議員初当選 会派幹事長

2012 年 一票差当選が無効となり最後の一議席を決めるくじ引きにより失職

2013 年 渋谷区議会議員 復職

趣味* 散歩 ラジオ体操 ラグビー観戦 スクーバダイビング サイクリング

小柳まさやの政策や活動など、詳しくはホームページで！
<http://koyanagimasaya.com/>

2. 「認知症カフェ」の増設

認知症サポート・介護相談の新たな拠点づくりが大きく前進！

私が代表質問(2014年9月議会)の中で提案した内容をうけて、区では「認知症カフェ」の増設や介護人材の育成、医療介護の相談等を行う総合的な地域拠点を整備してゆくこととなりました。2014年11月議会の区長発言の中でこのことが明示されました。代表質問で私は、来るべく高齢化社会にむけ、区では更なる高齢者サービスを充実するべきと提言しました。特別養護老人ホームの増設はもちろんのこと、住み慣れた自宅で生活できる環境づくりのお手伝いをすることも必要です。

また、認知症の人を介護する家族をサポートする支援策として、現在区で運営している「認知症カフェ」というのがあります。認知症患者やそのご家族、専門職の方やボランティアの方々が情報交換をしたり、相談会を



開いたりするための施設です。認知症を一人で抱え込むのではなく、地域や行政と連携したサポート体制の充実や組織的な支援策の実施が必要と考えます。その「認知症カフェ」の大幅増設と人材育成も含めた介護予防施策の拡大を要望したところ、2014年11月1日付けで、総合的な認知症対策を担当する組織である、「認知症ケア推進担当課」が新しく設置されました。大きな1歩です。民間の介護事業者と連携し官民一体となった高齢者対策の施策推進を進めるよう、今後も行政に働きかけ、いつまでも安心して住み続けられる渋谷区を目指してまいります。

3. 子育て支援～待機児童対策～

子育て支援～待機児童対策～

保育施設整備において、渋谷区では平成21年度以降、1000人を超える大幅な定員拡大をしてきています。しかし、働く意欲旺盛な女性は年々増加しており、残念ながら待機児童がなくなるのが現状です。足元の保育ニーズに corres 応するべく、緊急対策として広尾保育園仮設園舎と初台保育園仮設園舎を区立保育所として引き続き活用することとなりました。各74人の定員拡大となります。

また、国が推し進める「子ども・子育て支援新制度」では多用な子育てニーズに適応したサービス、良質な保育環境の整備を図ることではありますが、本区の子育て施策はこども園の整備拡充にみられるように、国に一步先んじて子育て世代のニーズに答えてまいりました。私、小柳まさやは今後も待機児童解消に向けて、働く女性をサポートしてまいります。世界的にみても、先進国において保育・幼児教育の無償化が主流です。都・政府にも働きかけ実現化を目指してまいります。



切り取り線

ご意見・ご感想をお待ちしております。 FAX 返信欄 宛先 [小柳まさや事務所 FAX 03-6318-6125](mailto:masaya@koyanagimasaya.com)

氏名		ご意見・ご感想をご自由にご記入ください
住所		
電話番号		
E-mail		
今後 小柳まさやからのご案内を送付してよろしいですか <input type="checkbox"/> 案内を希望する <input type="checkbox"/> 案内を希望しない		